

「歴史都市・京都から学ぶジュニア日本文化検定（通称：ジュニア京都検定）」の創設について ～「知識」+「体験」で、京都から市民ぐるみで日本文化を引き継ぐ子どもたちを育みます～

京都は、山紫水明の自然や景観の中で、日本文化が暮らしに息づく世界でも有数の歴史都市であり、このような優れた文化を守り、次代に継承していく子どもたちを育むことは京都の責務です。

そこで、こうした文化を子どもたちが学ぶ機会として「歴史都市・京都から学ぶジュニア日本文化検定」を創設し、推進プロジェクトや教職員の研究会、地域の専門家等の協力を得て、平成18年秋から実施します。

この検定は、小中学生を主な対象とし、「京都・観光文化検定」のジュニア版ともいうべきもので、学年や習熟度に合わせ複数のコースを設け、家族ぐるみや京都市外の子どもたちも受検できます。

また、歴史都市・京都に関する筆記試験に加え、自分の興味を持った分野であらかじめ行った体験活動に関する作文も併せて判定します。

この「ジュニア京都検定」を通じて、京都の優れた文化や景観を次代に伝え、国を挙げて守り生かす「京都創生」の取組の裾野を広げることにもつなげてまいります。

記

1 名称 「歴史都市・京都から学ぶジュニア日本文化検定（通称：ジュニア京都検定）」

2 目的

京都のまちが有する日本の伝統や優れた文化を学び、体験することにより、京都をよりよいまちにしていこうという意欲や、次代に伝えていこうという気持ちをもった子どもたちを育む。

3 特徴

（1）知識と体験を併せて判定

テキストを通して学ぶ日本の伝統や文化の知識を問うだけでなく、学んだことから興味をもった内容について体験活動を行い、それをまとめた作文により、知識と体験を併せて判定する。

（2）市民ぐるみで支える検定

実施主体には京都の各界の代表者からなるプロジェクトが核となり、教職員の自主的研究会や地域の専門家等の協力を得て運営する。

4 事業内容

（1）実施時期

平成18年秋（予定）

（２）対象

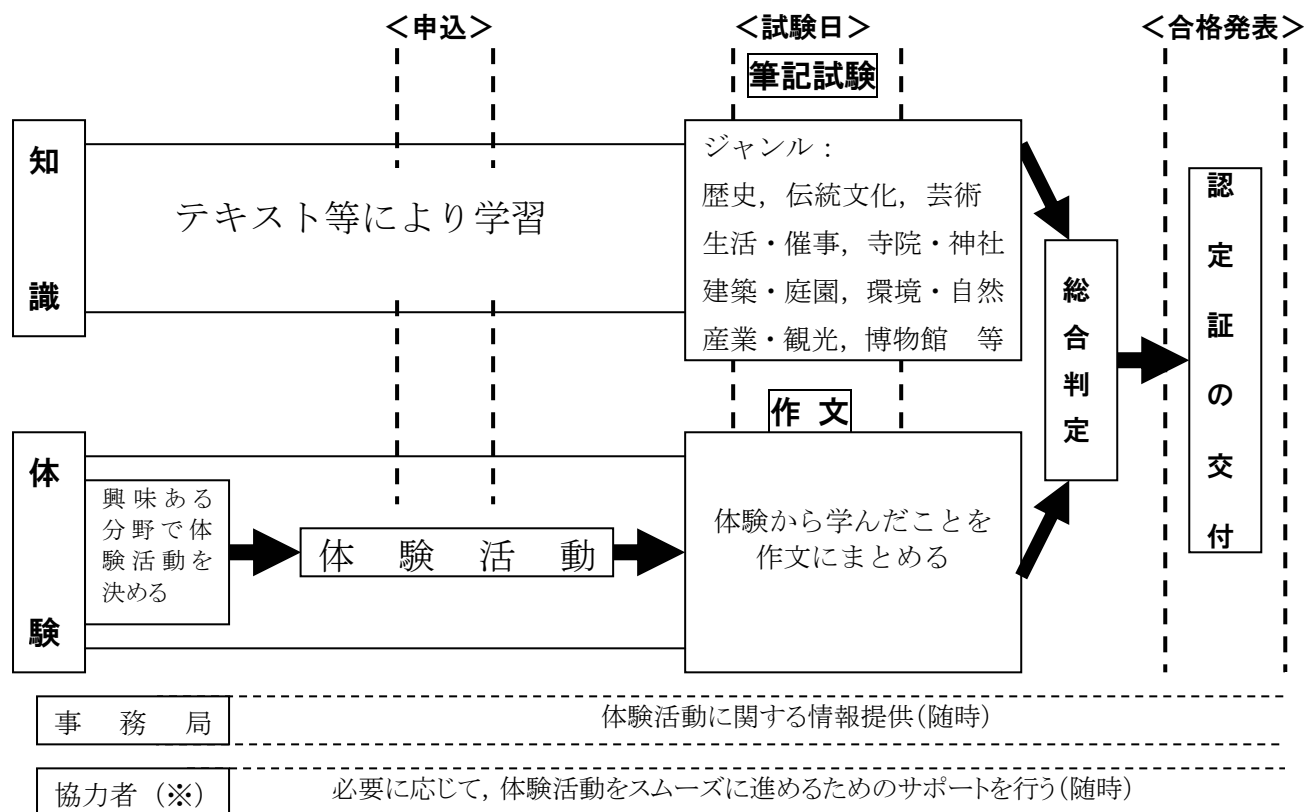
基本的に小・中学生を想定。

＊地域制限なし（京都を訪れる修学旅行生等の受験も可能）

（３）検定の流れ

主にテキストから出題される筆記試験と、テキストのジャンルを中心とした体験活動に関する作文を課す。可否は筆記試験と作文を総合して判定し、合格者には認定証を交付する。

＜検定の流れ イメージ図＞



＜筆記試験＞

主にテキストに含まれる歴史、伝統文化、芸術、生活・催事、寺院・神社等のジャンルから出題し、知識の定着度を判定する。

なお、学年や習熟度に応じて３段階のコース（基礎、発展、名人（仮称））を設定する。

＜体験活動・作文＞

筆記試験のジャンルを中心に興味を持った分野を選び、各自が決めた内容で行った体験活動をテーマとして作文を課す。

事務局や協力者から体験活動に関する情報提供、また必要に応じて体験活動をスムーズに進めるためのサポートを行う。

※協力者

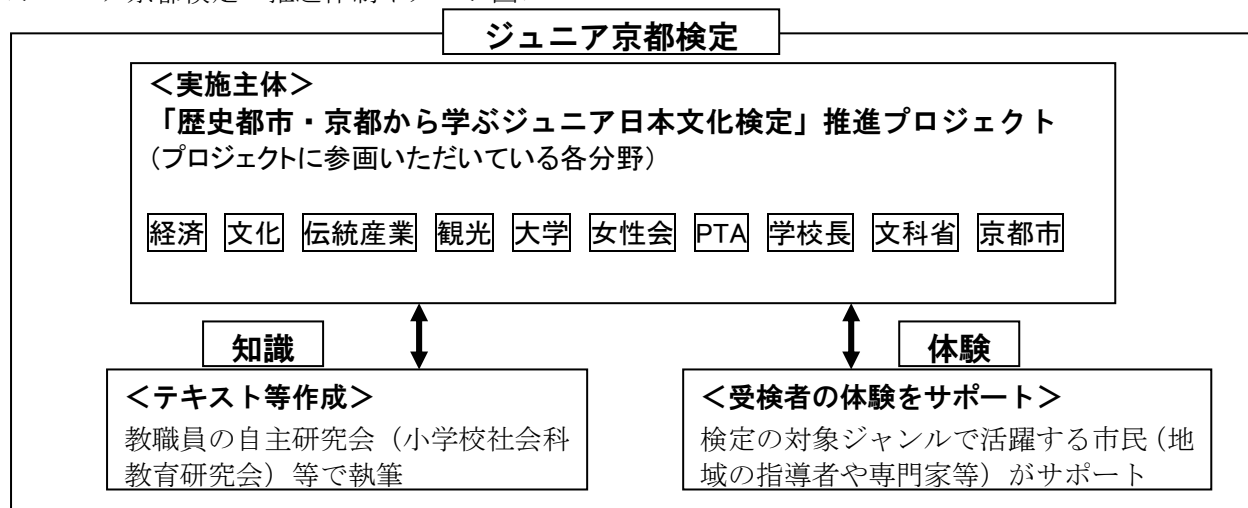
「みやこ子ども土曜塾」とも連携し、幅広い分野で活躍する市民に、子どもたちの体験活動への協力を呼びかける。

●地域の指導者や専門家（茶道、華道、和楽器等の指導者、伝統工芸士、歴史研究サークル、博物館学芸員など）

●「みやこ子ども土曜塾」に携わる市民団体等

5 推進体制

<ジュニア京都検定 推進体制イメージ図>



（１）実施主体「歴史都市・京都から学ぶジュニア日本文化検定」推進プロジェクト

様々な分野から京都の英知を結集し、検定の全体企画や進行管理、具体的な運営を行う。

<委員構成>（別紙参照）

委員 16 名（市田ひろみおこしやす京都委員会委員長ほか）

顧問 8 名（村田純一京都商工会議所会頭、榎本頼兼京都市長ほか）

事務局：教育委員会生涯学習部

<推進プロジェクトの担う役割>

検定のあり方の検討、検定の普及・啓発、体験活動のあり方の検討と協力者への呼びかけや実施に向けたサポート体制づくり

（２）知識分野（テキスト等作成）

市立小中学校教員の自主的研究会（小学校社会科教育研究会等、約 130 人体制）が中心となり『ジュニア京都検定テキストブック』を執筆。

（３）体験分野（体験のサポート等）

プロジェクトの協力要請に応じた幅広い分野の市民（地域の専門家等）が、子どもたちの体験活動をサポート。

6 今後の予定

平成 17 年 11 月 10 日 プロジェクト会議の設立

午前 11 時から 京都市役所第一応接室

平成 18 年 3 月末 『ジュニア京都検定テキストブック』刊行

4 月 ジュニア京都検定実施要項発表

秋 ジュニア京都検定実施

「歴史都市・京都から学ぶジュニア日本文化検定」推進プロジェクト

(各五十音順・敬称略)

顧問	井村 裕夫	みやこ子ども土曜塾塾長
顧問	河合 隼雄	人づくり 21 世紀委員会代表
顧問	千 玄室	(財)平安建都千二百年記念協会会長
顧問	堀場 厚	(社)京都経済同友会代表幹事
顧問	梶本 頼兼	京都市長
顧問	道端 進	(社)京都市観光協会会長
顧問	村田 純一	京都商工会議所会頭
顧問	渡邊 隆夫	(財)伝統的工芸品産業振興協会会長
委員	池坊 由紀	華道家元池坊次期家元
委員	市田ひろみ	おこしやす京都委員会委員長
委員	井上 満郎	京都市歴史資料館館長
委員	大塚 香代	京都大学名誉教授
委員	岡本 悦子	京都市中学校 P T A 連絡協議会副会長
委員	門川 大作	京都市教育委員会教育長
委員	佐藤 安紀	文部科学省生涯学習政策局政策課生涯学習企画官
委員	塩尻マユミ	京都市小学校長会副会長
委員	田中 長一	京都市立中学校長会会長
委員	筒井 紘一	京都市内博物館施設連絡協議会相談役
委員	西口 光博	龍谷大学経営学部教授
委員	西脇 悦子	京都市地域女性連合会会長
委員	八田 英二	(財)大学コンソーシアム京都理事長
委員	廣川 勝美	古都の森・観光文化協会理事長
委員	村岡 省子	京都市小学校 P T A 連絡協議会副会長
委員	若林 靖博	京都伝統工芸協議会会長